

情報コミュニケーション学部「国際交流（イギリス）」 2024年度 実施報告

「国際交流（イギリス）」開講初年度の2024年は、情報コミュニケーション学部の学生9名が参加し、ロンドン大学東洋アフリカ研究学院（SOAS）のサマープログラムにて英語や専門科目を学びました。



【参加者】

1年生	2年生	3年生	4年生	計
1人	4人	2人	2人	9人

【参加ブロック】

ブロック1	ブロック2	ブロック3	ブロック1～3
7/8-7/26	7/29-8/16	8/19-9/6	7/8-9/6
0人	2人	6人	1人

【参加コース】

コース名	参加者
English Language Skills	2人
Environment, Development and Changing World Views	2人
Global Business Strategy	1人
International Relations	3人
Introduction to the Media	3人

【参加した学生の感想】

授業について

● Introduction to the Media ●

ニュースや広告、SNS などメディアをテーマに学ぶ授業。みんなとても積極的に発言していて活気があった。振り返りの時間があり、分からないところも解消されて良かった。最終成果物としてグループで短いドキュメンタリーを作製。構想から撮影、編集まで自分たちでやるのは大変だったが、興味深く面白かった。カメラの使い方や動画編集の仕方の授業もあり、経験がなくても全く問題なかった。

● English Language Skills ●

英語を使つてのディスカッションが多く、最後に3人1組でサステナブルな社会についてのプレゼンテーションを行った。また1週間に一度フィールドワークとしてロンドンの観光地に赴き、教授がガイドしてくれた。自分では行かないような観光地に連れて行ってくれたのでとても新鮮で楽しかった。



● International Relations ●

国際関係論における専門用語の解説から始まり、ヨーロッパ諸国による帝国主義政策やアメリカの覇権、冷戦、民主主義、ウクライナ侵攻、主権という概念について、南北問題、中国の台頭、国際連合と国際機関の役割などについて学んだ。英単語のレベルが高く復習が必要不可欠。国際関係の最低限の知識がなければついていけないレベル。ディスカッションの時間が少なく、座学の時間が多い。

● Global Business Strategy ●

社会における企業の立場やグローバル企業としてのあり方についての授業。スライドやプリントは分かりやすかったが、先生が一方向的に喋るタイプの授業でついて行くのが大変だった。一度午後にイングランド銀行の博物館に行き、先生が経済や金融について解説しながら見学した。

● Environment, Development and Changing World Views ●

エコやサステナブルをキーワードにさまざまな分野に結びつけて学んだ。ただ環境や発展について学ぶのではなく、経済学的な側面をもとに哲学や宗教的な考え方を取り入れたり面白かった。リスニングに関してはそこまで速くなく、単語もレベルが高いものばかりではなかった。London Wetland Centre という自然保護公園にて動植物と触れ合いながら環境保護について学ぶ機会もあった。

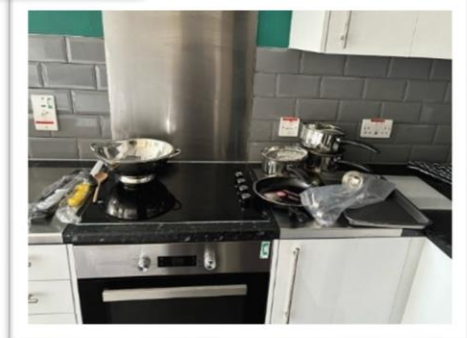
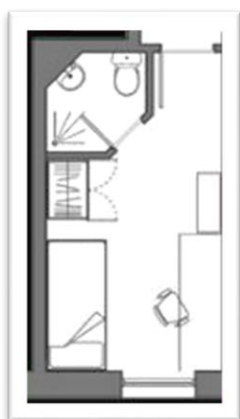
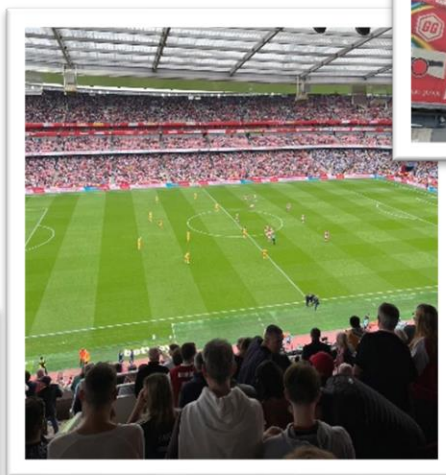
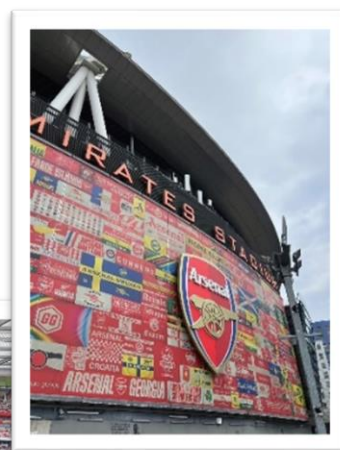
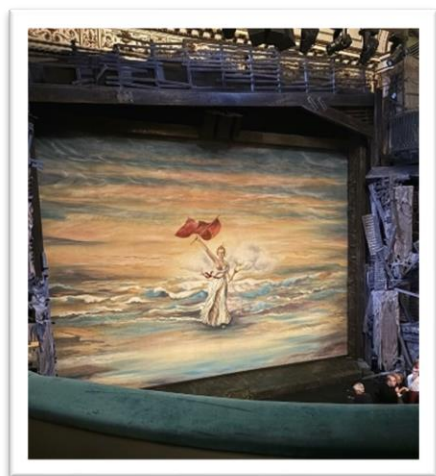


観光やアクティビティなどについて

- ✓大学の立地がいいので、放課後の時間で観光は十分でき、土日に遠出するプランで行動した
- ✓緑が豊かで、大英博物館が近くにあり、コンビニや飲食店、カフェなども多い
- ✓観劇、アフタヌーンティー、サッカー観戦、美術館、博物館などたくさんできることがある。予約が必要
なところもあるので、日本にいるうちから計画を立てて早めに予約するのがおすすめ
- ✓基本的にバスと電車がたくさんあり、どこに行くのもアクセスが良い

その他

- ✓参加者は日本人が多かったが、外大、ICU、上智大学など英語力が高く、優秀でモチベーションに
満ちた学生達と交流できて刺激を受けた
- ✓ブロック3は日本人が多いので、英語を話すためには積極的になる必要がある
時期をずらすことを検討してもよいかも
- ✓手続きの際に先方の返信が遅い、学生証がなかなか来ない、など不便なことがあった



- **他の国への留学に関心を持ったので、参加を検討したい。**
- **自分の英語力が不足していると痛感したので、英語学習への意欲が出た。**
- **間違えることを恐れず積極的にコミュニケーションをとっていく重要性を感じた。**
- **イギリス英語の発音を身につけて、使えるようになりたいという意欲が湧いた。**
- **英語力向上はもちろんだが、積極的にコミュニケーションをとる大切さに気づいた。**
- **Introduction to the Mediaで学んだ基礎的な知識を、これからの社会の見方に活かしたい。**
- **日本人以外と関わる機会があまり持てなかったが、他の大学のレベルの高い学生と交流する中で大きな刺激を得た。**
- **日本にいても少しでも英語に触れるような機会を作りたいと考えるようになった。**
- **周りのレベルの高さに縮こまってしまうと、せっかくの留学で得られる達成感が少なくなってしまう。**
- **語学力だけでなく、人間性や性格、物事の考え方など、自分を見つめ直す必要があると感じた。**



担当教員より

- **イギリスでの学びを通して、例えば以下のような思いを抱いてくれていたら嬉しいです。**
 - **世界には様々な英語がある（World Englishes）。**
 - **積極的にコミュニケーションをとることが重要である。**
 - **異文化を体験したうえで、日本という国について改めて考えてみたい。**